

せせらぎ通信

2016. 4. 27 発行

磯子高校40期生入学！

平成28年4月6日。前日までの天気が信じられないほどの青空の下、満開の桜の中で磯子高校第40期生の入学式がおこなわれました。新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。また、平日にも関わらず、多くの保護者の皆さまにお越しいただき、ありがとうございました。今年は、男子130名、女子187名、計317名がそれぞれの希望を胸に高校生活への第一歩を踏み出しました。



留学生がやってきた！

4月から磯子高校で一緒に学ぶ2人の留学生を紹介します。1人はパイパー・バイトマン（写真左）。オーストラリアの女の子です。もう1人はカレン・チア・ジュン（写真右）。カナダから来た台湾系の女の子です。それぞれ、1・2年生のGCに入ります。よろしくお願いします！



37期生、最終進路状況報告

37期生の最終進路状況報告は以下の通りです。

大学	短期大学	専門学校	その他学校	就職
110名	25名	106名	5名	40名

主な進学先として、神奈川大学、桜美林大学、専修大学、拓殖大学、鎌倉女子大学などがあり、指定校推薦だけでなく、一般入試で合格を勝ち取る生徒も増えてきました。1～3月の入試シーズンには、自習室で勉強する姿も多く見られました。今後の磯子生に期待大です。

磯子職員コラムリレー 第1回 教頭 逸見 育磨 先生

「磯子生に望むこと」

今年度も40期生を迎え、965名が集い支え学びあう磯子高校の船出となりました。みなさんはゲーテが青年期を「疾風怒濤（しっぷうどう）の時代」と例えたのを聞いたことがあるでしょう。あせりや不安、苛立ちを強く感じる青年期は、風が吹き荒れ大波が押し寄せる嵐の大海原にいるみたいということ。皆さんも理由のないあせり、苛立ち、不安に苦しみ、自分自身をコントロールできないことに苦しむこともあるでしょう。しかしそのような疾風怒濤の時代は大人になるために越えなければならない必要な試練なのです。気分や感情を基にした行動ではなく、思考や判断を基にした行動がとれるように努力してください。その様子を本校の先生方だけでなく、地域の方々もしっかりと見極めていきます。時には厳しく指摘してくれる時もあり、また助け船を出してくれる時もあるでしょう。その中で自分自身の夢を見つけ、夢へ向けた努力のできる高校時代として欲しいと思います。

今回は、1年1組担任国語科の古屋広大先生による「私の高校時代」です。

